

## 主題 「個性を尊重し、認め合う！」

ねらい：自分や友だちの「らしさ」に気づき、それを尊重し、認め合って生きていこうとする態度を育てる。自分自身ばかりでなく他者の「らしさ」にも目を向けさせたい。

### ●導入 「トマトとメロン」と、板書をしておく。先読みはさせない。

「トマト」にどんなイメージを持っていますか？ ・「メロン」には？

- ・安いー高い(高級感)、甘い、おいしくない、好きー嫌い、1年中食べられる旬がある
- ・教師側は比べさせることをしない。生徒が勝手に比べ始めるのはOK。

### ●範読（2分）

範読が短いので、自由に発言させてよい。生徒が勝手に比べることもよい。詩の冒頭で何か感じるはず。

### ●場面発問①

なぜ、トマトとメロンを比べてもしょうがないのだろう？

- ・トマトはトマト、メロンはメロン、そもそも違うもの。トマトはメロンにならない。

**補助** トマトは「メロンにはならねんだなあ」ってなぜ？

### ●場面発問②

トマトはトマトのいのちを、メロンはメロンのいのちを精一杯生きている、

自分のいのちを百点満点に生きているってどういう意味だろうか？

- ・それぞれが「甘くなるぞ〜」「おいしくなりたい」 （別紙）＜親しきなかにも礼儀あり＞  
って思って成長している。
- ・それぞれがきっと努力している。

**補助** トマトやメロンにも目標ってあるのかなあ？

はじめに 「宜しくお願いします！」  
A：私のらしいところは・・・です。  
A：あなたは どう思いますか？  
B：私は・・・があなたのらしいことと思います。  
B：私のらしいところは・・・ （繰り返す）  
終わりに 「ありがとうございました！」

### ●「私たち人間のことに当てはまりそうだね！」

### ●ペアワーク

自分のらしいところってどこ？ 何？ 指名された友だちとらしいところを伝え合おう！

- ・まずはWSに「じぶんのらしいところ」を記入させて、その後、指定していた友達と二人で伝え合う活動をさせる。伝え合う活動の方法は別紙参照。生徒にも説明してください。
- ・よかったら、活動後の感想を聞いてみる。  
(自分と友だちの指摘がかぶった。違うことを言われてなるほどと思った。何となく嬉しかった。)

### ●主題発問（時間があれば、フリーワークで「学び合い」を行いたい！）

自分や友だちの「らしいところ」を生かすために大切なことは何だろう？

- ・自分の「らしいところ」を伸ばそうとする姿勢や態度。
- ・友達の「らしいところ」を認め合う姿勢や態度。

### ●まとめ、感想

- ・私たちは、人の個性を陰でくすくす笑っていないだろうか。個性の伸長という側面と、優しさや思いやりにつないでほしいと願う2つの側面をもつ教材であると考える。
- ・「らしいところ」とは、言葉を変えれば「個性」のこと。生徒から授業中に出なかったら、「個性」という言葉を出したい。人それぞれの個性を伸ばすと同時に、他者の個性を認めることで、集団の成長につながることを感じてほしい。
- ・相田みつをさんの人となり、WSの裏面の美術展開催についても少し触れたいところである。たった一文字を書くために何百枚何千枚と紙を使用したり、印刷のわずかなズレや墨の色の微妙な違いから印刷済みの色紙千枚がボツになったりしたこともあったというエピソードは有名である。
- ・今後、相田みつをさんの書のコピーを学年掲示や学級掲示したいと思っています。